



新年あけましておめでとうございます。
冬休みは元気に過ごせましたか？昨年末からインフルエンザの感染が拡大しています。
感染しない・させないためにも、引き続き感染対策をして健康に過ごしましょう！

インフルエンザの症状



38℃以上の発熱



悪寒



頭痛・倦怠感



関節痛・筋肉痛



咳・たん



鼻水

インフルエンザの感染経路

飛沫感染



感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫に含まれるウイルスを、別の人が口や鼻から吸い込み感染。

接触感染



ものについているウイルスが手に付着し、その手で鼻や口を触り粘膜から感染。

インフルエンザの予防方法



手洗い・手指消毒をする



こまめに換気をする



予防接種



マスクをつけ、人混みを避ける



高熱が続く、呼吸が苦しい、意識状態がおかしいなど具合が悪ければ、早めに医療機関を受診しましょう。
※発熱12時間未満の場合、検査結果が陽性にならないことがあります。
(検査は発熱後12時間以上経過してから受けることをおすすめします)



政府広報オンライン



帝塚山大学ホームページ
学校感染症について